

次世代太陽電池の実証事業を実施します
～福岡空港からみらいを拓く、カルコパイライト太陽電池の可能性～

九電みらいエナジー株式会社（以下、当社）は、福岡県が公募する「福岡県ペロブスカイト太陽電池等実証事業」に9月2日付で採択されました。

当社が実証するカルコパイライト太陽電池は、国の第7次エネルギー基本計画等に基づき再生可能エネルギーの主力電源化を進めるため、開発が急がれるタンデム型太陽電池に欠かせない次世代型太陽電池技術です。その軽量性や柔軟性等の特性から、ペロブスカイト太陽電池と並ぶ、薄膜太陽電池の中核技術として注目されており、技術開発や施工性の検証が進められています。

本実証事業は、ペロブスカイト太陽電池とのタンデム型の研究開発に寄与し、ひいてはペロブスカイト太陽電池の普及推進に繋がるものと考えております。

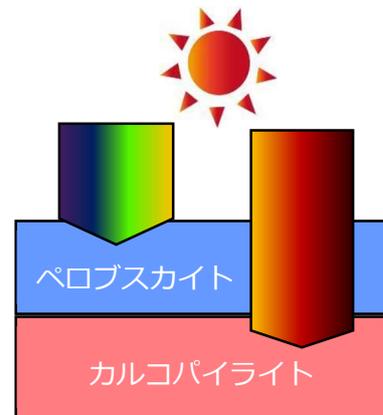
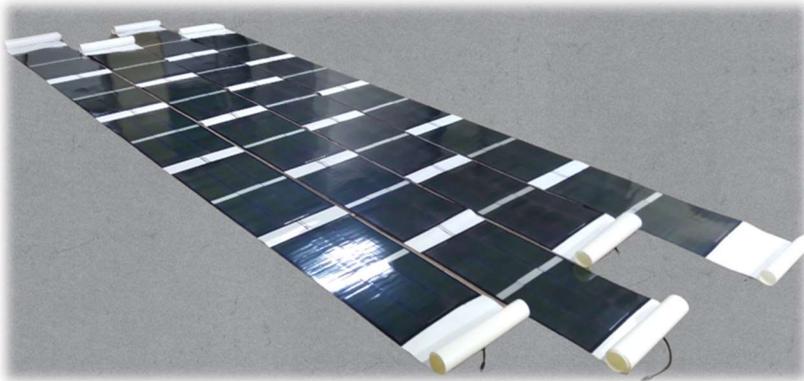
本実証事業においては、2025年11月中旬から機器を設置し、12月から翌年2026年2月にかけて実証データを収集します。年間旅客数約2,500万人を誇る福岡空港を設置の場とすることで、カルコパイライト太陽電池への認知度向上や普及促進に大きく寄与すると考えています。

当社は、福岡県の支援をいただく本実証事業を通じて、次世代型太陽電池技術の研究開発をさらに推進し、カーボンニュートラルの実現に向けて貢献してまいります。

以上

1. 本実証事業の概要

(1) カルコパイライト太陽電池とは



【特徴】

- ◎薄型・フレキシブル
- ◎超軽量 (0.8kg/m²)
- ⇒設置可能な場所・形状が豊富
多様な用途に対応可能

【将来】

赤外光で効率よく発電するカルコパイライト太陽電池と紫外光で効率的に発電するペロブスカイト太陽電池をタンデム構造にすることで更に高効率な発電を実現

(2) 「福岡県ペロブスカイト太陽電池等実証事業補助金」について

(補助金の目的)

ペロブスカイト太陽電池等を将来の普及を見据えた拡張性が高い場所に設置する実証に要する経費を補助することにより、ペロブスカイト太陽電池等の普及拡大を図るもの。

2. 実施体制・実施場所

(1) 実施体制 (予定) : 九電みらいエナジー株式会社、

株式会社 PXP、日揮株式会社、株式会社九電工



(2) 実施場所 : 福岡空港国際線ターミナルビル (太陽電池は、ビルの屋根に設置)

3. 実施内容

- ①カルコパイライト太陽電池による発電データ収集（2025年12～2026年2月）
- ②カルコパイライト太陽光設備設置場所における反射光影響の確認
- ③カルコパイライト太陽光設備の施工性確認
- ④本実証事業に関する展示（国内線ターミナル2Fにて、2026年1～2月展示予定）

4. お問い合わせ先

九電みらいエナジー株式会社 経営企画部門 経営企画部（広報）：092-981-0970

以 上